

熊野大社例大祭

7月23日(木)〜26日(日)、熊野大社例大祭が開催されました。時おり雨が振る中でのお祭りとなりましたが、地域の皆さんや観光客など大勢の人で賑わい、それぞれ宮内の夏の風物詩を楽しんでいました。

24日(金)のよまつり(宵祭り)では、「神輿御下り(写真①)」や「延年稚児舞(チゴタゴ)奉奏(同②)」が行われ、この内、神輿御下りでは、重さ400kgのみこしを

担いだ勇壮な行者たちが、約60mの石段を威勢の良いかけ声とともに下りました。

また、25日(土)のひまつり(例大祭)では、子供神輿巡業や「神輿御上がり」、獅子児たちが栗の木でボンデンを打ち合う「ボンテンバヨイ(同③)」など、様々な行事が行われました。最後に、御獅子が定められた11箇所(同④)で舞う「立場の獅子舞(同④)」が披露され、獅子頭が拝殿に納められると、活気に溢れていた境内に再び静けさが戻りました。



【表紙の写真】

ブラスト！ 合同演奏体験

6月13日(土)から7月24日(金)まで、市内で合宿を繰り広げていた「ブラスト！」は、7月25日(土)の南陽公演で華々しく全国ツアーのスタートを切りました。

滞在中は、市民や中学生との交流事業も行われ、6月15日(月)のウェルカムパーティーをはじめ、7月4日(土)に市内中学校吹奏楽部との合同演奏体験、同24日(金)には公開リハーサルが行われました。このうち、4日の合同演奏体験では、ブラストメンバーが中学生に演奏を直接アドバイス。最後は「アフリカン・シンフォニー」を一緒に演奏するなど、世界で活躍するブラスト！との特別な時間を過ごしました。

